平成27年度青少年教育施設のあり方を考える懇話会における総合評価シート

平成27年12月25日

1. 施設の概要

施設所在地	高知県香南市野市町西野303-1
業務内容	 ・施設の管理運営に関すること ・施設の利用の許可に関すること ・設備の維持管理に関すること ・主催事業及び受入事業の企画運営に関すること 〈平成26年度主催事業〉 ・中1学級づくり合宿 ・クラスまるごとお出かけ授業 ・のいちこども村 ・英語キャンプ ・わいわいチャレンジ
施設内容	「青少年の健全な育成」と「スポーツの振興」の2つの役割を担っているが、これらのためにはとりわけ、義務教育段階などにある児童・生徒の心と体の成長に資する取り組みが重要であることから、学校現場をはじめとした関係団体などと連携して社会教育や体力・競技力の向上などに向けた事業を推進している。 構造:本館 鉄筋コンクリート 3階建 延べ2,214.68㎡ 宿泊棟 鉄筋コンクリート・小屋組木及び鉄骨造2階建 延べ9,330.81 ㎡ 施設概要: 本館 青少年ホール(定員200名) 会議室(定員30名×3室) 視聴覚室(定員42名) 調理室(定員24名) 別館 食堂(定員174名) 会議室 和室(定員20名×2室) 宿泊棟(定員151名) 浴室(大浴室・小浴室) 野外炊飯棟 定員80名 補助グランド ソフトボール球場 体育館 大アリーナ ハアリーナ トレーニング室 医科学測定室 会議室 陸上競技場兼、サッカー場
職員体制	職員:所長 1名 次長1名、事業課長1名、チーフ1名、主任1名、 主任社会教育主事4名、社会教育主事1名、非常勤職員1名 合計:11名 現業部門は土佐青少年育成会に委託(12名)

2. 利用実績

(1)宿泊者数

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平均
人数	8,132	7,856	7,915	9,199	7,264	8,073

(2)利用団体数

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平均
団体数	1,773	1,740	1,929	2,023	1,914	1,876

(3)利用者数

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平均
人数	123.363	117.666	123,499	122,017	114,024	120,114

3. 業務の評価	
項目	状況説明
①利用拡大のための取り組み	利用拡大のために、以下の点で工夫が見られた。 〇中一学級づくりをはじめとする学校と連携する行事については、事前の打ち合わせで学校のねらいを協議し、事後にも学校を訪問し、児童の様子を確認するなど担当教員と連携した取組みを行っている。中一学級づくりでは、すべての学校から「その後の学級経営に役に立つ」との回答を得ている。 〇主催事業を定期的に見直し、利用者のニーズに合った魅力的な新規プログラムを開発している。 〇キャリア教育の一環として地域企業への訪問を行い、地域社会との連携が行われている。
②利用者へのサービス向上のための改善策	利用者へのサービス向上のために、以下の点で工夫が見られた。 〇学校や市町村教育委員会を訪問し、意見交換を行い利用者のニーズを 把握するよう努めている。 〇参加申込みが例年多い企画は同じ内容で2回実施するなど、できるだけ 多く子どもたちが希望する行事に参加できるように工夫している。 〇夏休み及び春休み期間中は休館日なしのフルオープンでの対応や、ハード面でもソフト面でも職員間で情報共有し、速やかな改善に努めている。 〇県の防災拠点及び地域の避難所となるため、地震防災に関する職員研修を行い、職員の意識を高めている。
③施設の運営について	○毎朝の朝礼や定期的な所内会を持ち、職員全員で必要な情報を共有し、 風通しのいい職場作りに努めている。 ○現業部門を委託している一般財団法人土佐青少年育成会と密接に連携 し、相互の意思疎通に努め円滑な運営ができている。
④利用実績	〇体育館の床改修工事のため、大アリーナを45日、小アリーナを30日閉館 したことなども影響し、平成25年度と比較して、宿泊者数は1,935人、利用団 体数は109団体、利用者数は7,993人減少している。
⑤収支の状況	〇利用者の減少により平成25年度と比較して、使用料収入は393千円の減収となった。
総合評価	○課題意識が高く、学校現場が抱えている問題解決に寄与するため、学校との意見交換を行いニーズの把握に努めている。 ○受入事業・主催事業とも実施前後の協議を行い、利用目的の達成に向け取り組んでおり、効果的な評価を得ている。 ○施設のハード面での足りない部分を、職員全員の誠意あるサービス提供によりカバーする努力をしている。 ○スポーツ設備が整備されており、安定した利用者を確保している。スポーツ振興行事の取り組みを引き続き期待する。 ○改築後の施設は、研修機能が向上することから、各種研修の受入れに加え、指導者の育成に関する取り組みや、地域と連携・協力した取り組みについての検討を期待する。